

「東北風土マラソン 2026」 社員のボランティア参加について

モビリティデータを活用したサービスを提供する株式会社スマートドライブ（本社所在地：東京都千代田区、代表取締役：北川烈、以下「当社」）は、2026年4月19日（日）に行われる「東北風土マラソン 2026」に、当社社員がボランティアとして参加することになりましたのでお知らせします。



2025年の参加メンバー

「東北風土マラソン」は、東日本大震災の復興支援活動をきっかけに始まり、毎年春に宮城県登米市で開催されています。フランス発祥の「メドックマラソン」に着想を得て、東北ならではの風景を楽しみつつ、東北各地の名物グルメや日本酒の仕込み水を味わいつつ走り、東北の魅力を世界に発信する「グローバル・ファンラン」を目指しているイベントです。

当社は、第1回大会の立ち上げ時に当社代表の北川が企画・運営として参画したこともあり、過去の大会にも当社社員が大会運営サポートにボランティアとして参加してきました。東日本大震災から15年、第12回目となる今回も、マイ箸、マイカップの持参を推奨する等といった大会を通じた持続可能かつ環境に対する取り組みに共感した当社社員がボランティアとして参加します。SDGs ブースでの大会のサポート、来場者のご案内や各種イベントの補助などを通じて、大会の盛り上げの一助となる活動に従事する予定となっています。



2013年の創業以来「移動の進化を後押しする」というビジョンを掲げる当社は、一貫して移動という分野から環境保全・交通安全推進などの社会貢献に取り組んでまいりました。「歩く」「走る」という行動は、人間にとって最も身近な移動方法であるといえます。東北の皆さまとともに走る本イベントを通じて、私共のビジョンである「移動の進化を後押しする」に共感いただくとともに、私共が取り組む環境保全問題などに関心を持っていただくきっかけとなれば幸いです。

今後も、スポーツや学校などへの社会活動支援を積極的に推進していきます。

以上

【スマートドライブのサービス】

「経営者とドライバーが使いたい No. 1」※法人向け車両管理システム「SmartDrive Fleet」

<https://smartdrive.co.jp/fleet/>

車両に関する書類 DX を促進するクラウドサービス 「SmartDrive Box」

<https://smartdrive.co.jp/fleet/lp/smartdrive-box/>

ブレーキパッド残量可視化サービス「BRAKEPAD SCAN powered by ADVICS」

<https://smartdrive.co.jp/special/brakepadscan/>

走行データの取得・蓄積・活用「Mobility Data Platform」

<https://smartdrive.co.jp/mobility-data-platform/>

業界の垣根を超えたコミュニティー「Mobility Transformation」

<https://www.mobility-transformation.com/>

※日本マーケティングリサーチ機構調べ 調査概要:2021年5月期_ブランドのイメージ調査

(「SmartDrive」、「SmartDrive Fleet」、「SmartDrive Box」、「BRAKEPAD SCAN」、「Mobility Data Platform」、「Mobility Transformation」、「Vector G」は、株式会社スマートドライブの商標または登録商標です。)

■会社概要 株式会社スマートドライブ

会社名 : 株式会社スマートドライブ (東京証券取引所グロース市場 : 証券コード 5137)
設立 : 2013年10月
代表取締役 : 北川 烈
所在地 : 〒100-0011 東京都千代田区内幸町 2-1-6 日比谷パークフロント 19階
URL : <https://smartdrive.co.jp/>

-本件に関する報道お問い合わせ窓口-

株式会社スマートドライブ マーケティングチーム 広報担当

Email: pr@smartdrive.co.jp TEL:070-3250-4163 (佐藤)